

東 [Tokyo] 曼陀羅

Tokyo Mandala: The World of Shomei Tomatsu

松
照
明



『写真家4 東松照明』東京、1978年 作家蔵

2007 10/27^[土]—12/16^[日]
東京都写真美術館 2階展示室

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099



<http://www.syabi.com>

【開館時間】10:00—18:00

(木・金は20:00まで/入館は閉館の30分前)

【休館日】毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌日の火曜日)

【観覧料】一般800(640)円/学生700(560)円

中高生・65歳以上600(480)円

※()内は20名以上の団体割引料金、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料、第3水曜日は65歳以上無料

主催：財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

読売新聞東京本社/美術館連絡協議会

特別協賛：キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

協賛：ライオン/清水建設/大日本印刷/三菱商事

協力：フォト・ギャラリー・インターナショナル

東松照明 [Tokyo] 曼陀羅

Tokyo Mandala
The World of Shomei Tomatsu

2007 10/27^[土]—12/16^[日]

東京都写真美術館 2階展示室

戦後日本を代表する写真家東松照明は、1954年愛知大学を卒業後上京し、岩波写真文庫のスタッフとなり56年からフリーランスの写真家として活躍を始めました。

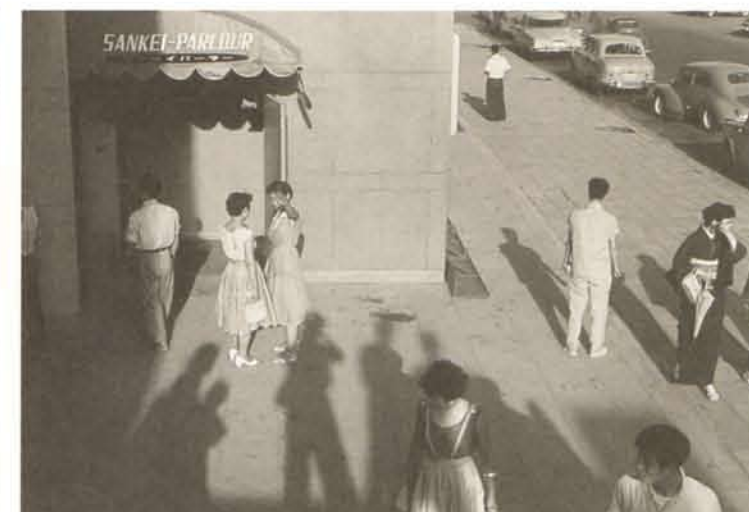
名古屋、東京、沖縄、千葉、長崎と拠点を換えながら、日本の写真表現を切り開く重要な作品を次々と発表し、今日世界的な評価をゆるぎないものにしています。

本展「Tokyo曼陀羅」は、「長崎マンダラ」(長崎県立博物館、2000年)、「沖縄マンダラ」(沖縄・浦添市美術館、2002年)、「京まんだら」(京都国立近代美術館、2003年)、「愛知曼陀羅」(愛知県美術館、2006年)と撮影拠点をキーワードに、個別のテーマ性や時代性を解体して再構成をする「曼陀羅」シリーズの最後に位置するものです。東京を中心として千葉、神奈川など関東一円で撮影された作品に、東京を拠点に各地へと取材した作品を合わせ、東松の写真世界を構築する作品群が再構成されます。

本展には著名な作品はもとより、今回あらたにネガにまで溯って選びだされた未発表作品を含み、当館のコレクションと新たにインクジェット・プリントで制作したプリント計307点が構成されます。その総体からは、写真家・東松照明の眼差しの原点と現在が浮かび上がるに違いありません。



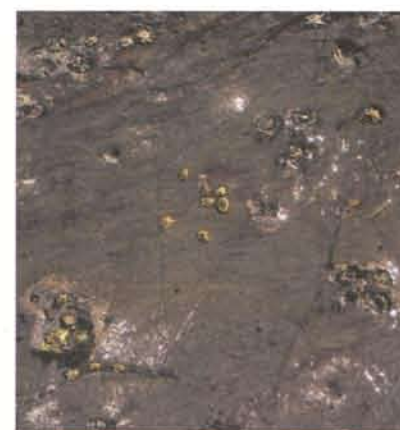
『反戦1』東京、1968年 作家蔵



『ファッション』東京、1955年 作家蔵



『アライ2』俳優 高橋美智子、東京、1971年 東京都写真美術館蔵



『インターフェイス10 母船半島』1990年 作家蔵



『オリンピック・カプリチオ1』東京、1962年 東京都写真美術館蔵

【フロアレクチャー】

担当学芸員による展示解説を会期中第1・3金曜日午後4時より行います。観覧チケットをお持ちの上、会場入り口にお集まりください。

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

<http://www.syabi.com>

■JR恵比寿駅東口より徒歩約7分。東京メトロ日比谷線より徒歩約10分。

■当館には専用の駐車場がございません。お車でご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

